

地域医療 連携室だより

No. 25

2026年7月発行

社会医療法人みゆき会



みゆき会病院

盛夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より地域医療連携にご理解、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、本号では当院の「訪問看護ステーション」についてご紹介をさせていただきます。

今後共ご支援ご厚情を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「病院併設」の強みを活かし、在宅生活をシームレスに支える ～かみのやま訪問看護ステーション～

所長 鏡 徹子

かみのやま訪問看護ステーションは平成8年に介護老人保健施設「みゆきの丘」内に開設しました。令和6年1月には同敷地内の「みゆき会病院」へ移転したことで、医療スタッフとの連携がさらにタイムリーに行われるようになりました。

看護師4名、リハビリスタッフ3名の小規模な事業所ですが、その特性を最大限に活かし、さめの細かい看護・リハビリを心がけています。

◆「病院の中にある」からこそできること

・多職種による退院支援

地域包括ケア病棟の退院支援カンファレンスに定期的に参加しています。病棟・外来看護師、医療ソーシャルワーカー、リハビリスタッフなどの多職種の一員として訪問看護師としての視点を活かし、退院後の生活を見据えた支援を共に検討しています。また、病棟を退院して訪問看護の利用者様が、在宅でどのような生活を送っているかをカンファレンスの場でフィードバックすることで、よりよい退院支援が展開できるようになりました。

・医師との迅速な情報共有

看護師が外来と訪問を兼務していることで、当院医師との情報共有が迅速に行えるようになりました。利用者様の状態変化時の外来受診や入院治療の受入れもスムーズに行なえる体制が整っています。

◆医療と生活の両面からアプローチする支援

医療的処置にとどまらず、日常生活動作の維持・回復・悪化防止にも注力しています。ケアマネジャーや地域の介護事業所の皆様と連携し、住み慣れた地域で健やかに過ごせるようサポートいたします。

◆24時間365日の安心体制

緊急時には電話相談や臨時訪問を行なっています。夜間や休日であっても安心して生活できるよう支援します。



訪問リハビリの現場から

～住み慣れた我が家だから引き出せる力～

作業療法士（OT） 後藤 圭子

「その方らしい生活を、住み慣れた地域でおくこと」を目標に、訪問リハビリスタッフは理学療法士（PT）1名、作業療法士（OT）2名の計3名で活動しています。日々訪問に伺う中で、在宅リハビリテーションの大切さを様々な場面で実感しております。

ご自宅の「その方らしい生活環境」でリハビリをすることの大切さ

歩行が不安定で、入院中は一人で歩くことに不安を感じていた方でも、自宅に戻ると、テーブルや棚、壁などを伝いながらスムーズに移動できることがあります。病院では出来なかったことが、長年住み慣れた自宅では自然にできてしまうことも少なくなく、その変化に驚かれることがあります。一方で、住み慣れた環境であっても転倒などの危険は潜んでいます。私たちはリハビリの専門的な視点から、生活環境や動作確認し、安全で安心な生活を維持できるよう、一人一人に合わせた方法をご提案いたします。



【連携エピソード】

80代男性患者の一例です。既往歴に骨髄異形成症候群、前立腺がん、糖尿病などがありましたが、娘夫婦とお孫さんとともに自立した生活を送られていました。

肺炎で入院し、治療開始から約一か月が経過した頃には全身状態も安定し、ADLも回復してきました。ご本人・ご家族とともに自宅退院を希望されたため、退院に向けた準備を進めていました。しかし、その過程で、ご家族からSPO2の観察方法や内服薬の管理・セッティングについて、「自宅でも適切に対応できるだろうか」といった疑問や不安の声が聞かれるようになりました。また、退院支援カンファレンスでは、体調管理や状態悪化時の対応、ご家族が不在となる時間帯の見守りなどが課題として挙げられました。これらの課題を踏まえ、かみのやま訪問看護ステーションによる訪問看護を導入し、自宅退院となりました。

退院後、ご家族からは、「看護師が定期的に訪問してくれること」「主治医との連携が密であること」が安心につながっているとの声が聞かれています。さらには、病院併設のステーションであるため、入院が必要な状態となった場合にも速やかに対応できる体制が整っていることも大きな安心材料となりました。病院併設の訪問看護ステーションという強みを活かすことができた症例でした。

現在もご本人は体調を維持しながら、ご家族に囲まれ、自宅で穏やかな日々を過ごされています。

今後も病院併設のメリットを活かし、地域で暮らす皆様のお力になれるよう取り組んでまいります。訪問看護、訪問リハビリの必要な方がいらっしゃいましたら、いつでも気軽にご相談ください。

かみのやま訪問看護ステーション 電話：023-672-6767

当院地域医療連携室は、医事課職員1名、看護師4名、医療ソーシャルワーカー5名で担当しております。入退院支援室と医療福祉相談室のスタッフが同室で細やかに情報共有しながら業務を行っています。

急性期治療後の転院相談や、検査・加療目的の入院など、お困りの症例がございましたら、まずはお気軽に地域医療連携室までお問い合わせください。

- ・相談窓口：地域医療連携室 TEL 023-672-8282 FAX 023-673-2561
- ・受付時間：平日 9:00～17:00

転院依頼票は当院ホームページよりダウンロードいただけます。

